

# 暑い中お見舞い 申し上げます



大崎町長  
東 靖弘



厳しい暑さが続いておりますが、町民の皆様方にはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。本年は、五月の台風では、三年ぶりといわれる四号、六月の

台風六号と相次いで接近しましたが、幸いなことに強風域に入っただけで、農作物等への被害も少なくひと安心しているところでございます。七月二十日未明には、菱刈町や水俣市などで梅雨末期の局地的な豪雨に襲われ、多数の犠牲者が出ました。つつしんでごめい福をお祈りいたしますとともに、引き続き、今後も災害に十分な警戒をお願いいたします。

さらに、七月三十日にはシラス利用の緑化基盤材等の実用化に成功した、ストーンワークスとの立地協定を県庁において結びました。ストーンワークスでは、緑化基盤材のほか、畜舎用床材、シラスブロック、透水性ブロックなどを製造する工場を新たに建設する予定で、シラスを大量に利用しながら、高付加価値製品を開発し、資源立地型産業の創出が図られるとされています。鹿児島県の面積の約五十パー

## 企業誘致

平成十四年には(株)おおさき町鰻加工組合など三つの会社が大崎町に進出しました。十五年度も、現在までに三社と立地協定を締結しております。まず、六月九日にプレス金属メーカーのダイツール技研が第二工場を建設することになり、立地協定を結びました。

また、六月十九日には、タカラバイオとアシタバ加工工場建設の立地協定を県庁において結びました。九月からは、生鮮野菜やジュース用に製品化する工場が稼動することになっていきます。将来は健康食品の材料となる粉末化の加工工場も建設することが検討されています。

セントを占めるシラスが工業利用されれば、地域の発展に大きく寄与することが期待され、新規市場開拓の切り札として地元を初め全国で大きな反響を呼んでいます。

## 公共下水道

平成八年度から整備を進めてきました公共下水道は、クリーンセンターも完成し、供用開始しました。下水道は、公共用水域水質の保全を図りながら、住民の皆さんが快適な生活を送るための都市基盤の整備を図っていくという役割も担っています。今後もこれらのことを念頭に、事業を進めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 中央公民館

生涯学習活動の拠点として大きな役割を担う中央公民館は、老朽化のため、大規模な改造工事をしておりましたが、七月末で完了しました。次代を担う子どもたちを中心とする生涯学習社会づくりに努めてまいります。気軽にご利用ください。

## 曾於南部合併協議会

市町村合併は、そこに住んで

る人々にとつて、生活の向上につながるものでなければならず、人口や面積が増えることで行政の効率化が図られることが予想されるものの、この両者を両立させるためには、乗り越えなければならぬ問題も多々あると思います。新しいまちづくり計画は、『自己責任・自己決定』という地方自治の原則のもと、町民の意向を踏まえたものであるべきだと思っております。様々なご意見・ご要望をいただければ幸いです。

二十一世紀の大きなテーマになりつつある少子高齢化への対応をはじめとする多種多様な住民ニーズに適切に対応するため、行財政全般にわたる改革を進め住民福祉の向上のために最善の努力をしてまいります。

皆様にはくれぐれもご自愛くださるようお願いいたしまして暑中の挨拶といたします。

平成十五年 盛夏

大崎町長  
他職員一同